

ユガテの森から

NO19

発行 NPO法人 西川木楽会 埼玉県飯能市大字飯能291番地 2019年7月1日



(6月15日)

第26回NPO法人西川木楽会通常総会が開催されました

令和元年6月15日に西武ガスホールで、平沼飯能市議会議長、内沼埼玉県議会議員、藤田埼玉県川越農林振興センター副所長、宮沢西川広域森林組合部長を来賓としてお招きして、第26回NPO法人西川木楽会の通常総会が開催されました。

議事では、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算が上程され、承認されました。つぎに、役員改選が諮られ、小見寺理事以外の理事、監事の再任と土谷宏氏の選任をしました。その後、開催した理事会において、佐藤永治理事の副代表への就任が決まりました。

総会に先立ち、伊藤弥寿彦氏から「明治神宮100年の大実験」をテーマに記念講演会を行いました。講師の伊藤氏は、曾祖父が初代内閣総理大臣の伊藤博文氏であることから、飯能市生まれで「横浜の星」と言われた平沼専蔵氏との関わりについて興味深い話をされました。その後、本題に入り、大正4年、明治天皇の奉祀社建設地として代々木に決まり造営が開始され、敷地の大部分が田畑や草原、沼地で森林は一部のみの土地を埼玉県出身の林学者である本田静六氏等の専門学者が参画し、約100年で自然の森にすることを目標として、約70haの土地に全国から9万5千本の献木を植栽し、樹木の自然の遷移を利用し造成したとのこと。造成から百年たった現在、見事な自然林となっている状況を映像を交え、貴重な動植物について解説をいただきました。

本田静六博士の業績

宮島義和

記念講演で本田博士の業績の1つである明治神宮の造営について話されたので、改めて本多静六博士について記させていただきます。

博士は、慶応2年、埼玉県菖蒲町（現久喜市）生まれ。東京農林学校を卒業し、ドイツ留学、経済学を修め、帰国後、東京農科大学の助教授に、その後、明治33年から昭和2年まで東京帝国大学教授として教育研究にあたっていました。明治32年には、日本初の「林学博士」の学位を取得しています。博士の業績の1つは、公園の設計改良です。皆様もご存じの日比谷公園を皮切りに、北は北海道から南は鹿児島県まで全国各地の公園の設計に携わり、その数は大小数百とも言われています。埼玉県でも、さいたま市の大宮公園、秩父市の羊山公園に関わっていました。

日比谷公園の造成では、東京市から新様式の西洋風公園を作ることが求められたため、幾何学的なフランス庭園と自然をイメージしたイギリス庭園の両方の特徴を活かした公園を作りました。

日比谷公園の有名なエピソードは、公園の中央の松本楼の前にある「首かけイチョウ」ではないでしょうか。日比谷通りの拡張に伴い、朝日生命の角にあった樹齢500年のイチョウが伐採されることとなっていたのを博士が中止を懇請し、東大教授の首をかけて移植したものです。450mのレールを敷き、25日間をかけました。



本田博士は、「処世の達人」「資産家」「慈善事業家」として広く知られています。苦学生から身を起こしたことから「財産」にこだわったと思われる。「4分の1天引き貯金」を唱え、蓄財を奨励していました。そして「人生即努力、努力即幸福」を教訓としていました。

博士は、明治の30年代から、秩父地域の山林の購入を始めました。当時、1haの購入額が4円と記されています。当時の4円が現在の価格としていかにほどになるかわかりませんが、その立木（広葉樹）を売却すると280円となり、それを元に、山林を購入したとのこと。約7000haの山林所有者になりました。そのうちの2600haを埼玉県に寄付し、現在の中津川県有林が誕生しました。県には、経営方針として、立木の販売額の4分の1の積み立てを求め、苦学生への奨学金制度を作り、多くの学生を援助しています。



S25 中津川県有林事務所にて

3ヶ月の記録



4月6日 ユガテの春を楽しむ



4月6日 ユガテの春を楽しむ



4月21日 ユガテの春を楽しむ(エコツアー)



4月21日 ユガテの春を楽しむ(エコツアー)



4月27日 ユガテの春を楽しむ(企業向け)



4月27日 ユガテの春を楽しむ(企業向け)



6月8日 環境フェスタ2019(市民活動センター)



6月8日 環境フェスタ2019(市民活動センター)

西川木楽会 3 カ月予定表 (2019年7月から9月)

月 日	時 間 帯	行 事 内 容	場 所
7月6日 (土)	10:00から15:00	竹炭づくり定例活動日	ユガテ
7月20日 (土)	19:00から21:00	真壁と暮らし部会例会	創夢舎
7月27日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
8月3日 (土)	10:00から15:00	竹炭づくり定例活動日	ユガテ
8月6日 (火)	10:00から15:00	秩父子どもエコクラブ木工教室	ユガテ
8月11日 (日)	11:00から15:00	第3回ユガテ木工まつり	ユガテ広場
8月17日 (土)	19:00から21:00	真壁と暮らし部会例会	創夢舎
8月20日 (火)	19:00から21:00	理事会	飯能ケーブルテレビ
8月24日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ
9月7日 (土)	10:00から15:00	竹炭づくり定例活動日	ユガテ
9月21日 (土)	19:00から21:00	真壁と暮らし部会例会	創夢舎
9月28日 (土)	10:00から15:00	定例活動日	ユガテ

- 備考 1. 定例活動日
 ユガテ：第4土曜日 任意の製材木工作业：毎週火曜日
 真壁と暮らし部会：第3土曜日 理事会は原則偶数月第3火曜日
2. 時間に拘ることなくご都合の良い時間にご参加いただいても結構です

お知らせ

第3回ユガテ木工まつり 8月11日 (日)

「山の日」の関連行事として「ユガテ広場」で、第3回ユガテ木工まつりを開催致します。
 木工作、わなげ遊び、積み木遊び、木のパズル、ブルベリー狩りなど

丸太切り等 いろいろ



生ビール、とうもろこし等販売



編集後記

2019年も半年が過ぎました。今年も、猛暑の夏になるのでしょうか。心配です。連日、体温以上の35度越えは、人間として、いかながなものかと考えさせられます。

記念講演会で明治神宮が取り上げられたため、改めて、遠山益氏の「本田静六 日本の森林を育てた人」を読み返すことが出来ました。その中で、明治神宮の森づくりにおいて、時の総理大臣の大隈重信が、伊勢神宮や東照宮を例として、神社＝スギでなければならないとの主張に対し、スギは湿地でなければ育たないので当地では不適としたが、「なかなか理解を得ることができない」と書かれています。本田博士の森林生態学に基づく科学的資料を用意し説得したとのこと。この様な努力により、現在の明治神宮の姿になっているのですね。(宮島)